

ダン・トラン・タオ・ニーさん (16)

建築を学び持ち帰る



「日本人はいい発想をたくさん持っているのに、人前だと自分の意見を言わない。皆のやりたいことをまとめ上げ実行したい」。滑らかな日本語を操るベトナムからの留学生が、鹿島学園高校（鹿嶋市田野辺）初の外国人生徒会長になった。

ホーチミン市出身。7歳から日本語を学び、何度も来日。母国ではインターナショナルスクールに通い英語も堪能という国際派だ。日本の文化にひかれ「わび、さびは話を聞いても分からない。実感したい」と留学を決めた。そんな中、学校で「野球部などがグラウンドに」あ

りがとうございました」と言う。人だけでなく、物にも感謝の気持ちを表すのはすごいと驚きを隠さない。昨年7月には日本語能力試験でもっとも難易度の高い「N1」を取得。「将来の夢は建築家。日本の大学で建築を勉強してベトナムに持って帰りたい」と目標は明確だ。

生徒会選挙は自ら立候補し、1人だけの表明だったが信任を得た。「生徒会新聞を作り人気の話題を取り上げたい。インターナショナルスクールでは世界の情報が自然に入ってきた。常に新しい情報を皆に提供したい」と目を輝かせている。（小林久隆）